業績ハイライト

－ 2023年3月期決算について －

じもと HOLDINGS　きらやか銀行　仙台銀行

－　目　次　－

1．損益の状況	・・・	1
2．自己資本比率の状況	・・・	4
3．貸出金の状況	・・・	5
4．預金の状況	・・・	6
5．預かり資産の状況	・・・	7
6．有価証券の状況	・・・	8
7．金融再生法開示債権の状況	・・・	9
8．経営指標	・・・	10
9．2024年3月期 業績予想及び配当方針	・・・	10

1．損益の状況

① じもとホールディングス連結

（単位：百万円、％）

	2023年3月期	前年同期比	増減率	2022年3月期
連結経常収益	37,435	△ 2,772	△ 6.8	40,207
経常利益	△ 4,297	△ 8,784	-	4,486
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 7,082	△ 9,667	-	2,585

- じもとホールディングスの連結経常収益は、前年同期比27億72百万円減少の374億35百万円となりました。
- 経常利益は、きらやか銀行において大口取引先の破たんや将来に向けた予防的な引当金計上により与信関係費用が大幅に増加したことなどから、前年同期比87億 84百万円減少の△42億97百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比96億67百万円減少の△70億82百万円となりました。

② 2行合算

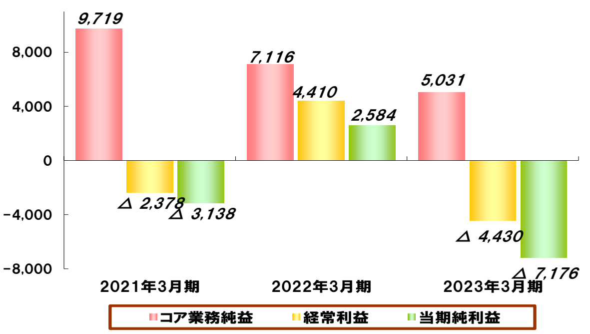
（単位：百万円、％）

	2023年3月期	前年同期比	増減率	2022年3月期
経常収益	32,101	△ 2,549	△ 7.3	34,650
業務粗利益	26,456	△ 2,844	△ 9.7	29,300
資金利益	23,447	△ 2,847	△ 10.8	26,294
役務取引等利益	2,873	△ 0	△ 0.0	2,873
その他業務利益	135	3	2.7	131
うち国債等債券損益	△ 215	△ 36	-	△ 178
経費（除く臨時処理分）	21,639	△ 722	△ 3.2	22,362
うち人件費	10,539	△ 440	△ 4.0	10,979
うち物件費	9,268	△ 276	△ 2.8	9,544
実質業務純益（注1）	4,816	△ 2,121	△ 30.5	6,937
コア業務純益（注2）	5,031	△ 2,084	△ 29.2	7,116
除く投資信託解約損益	4,942	△ 2,098	△ 29.8	7,040
一般貸倒引当金繰入額	△ 132	△ 1,015	-	883
業務純益	4,948	△ 1,105	△ 18.2	6,054
臨時損益	△ 9,379	△ 7,735	-	△ 1,643
うち不良債権処理額	9,482	7,883	493.2	1,598
うち個別貸倒引当金繰入額	8,926	7,606	575.8	1,320
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	323	124	62.8	198
経常利益	△ 4,430	△ 8,841	-	4,410
特別損益	△ 537	△ 313	-	△ 224
法人税等合計（△）	2,208	606	37.8	1,601
うち法人税等調整額（△）	1,810	871	92.7	939
当期純利益	△ 7,176	△ 9,761	-	2,584
与信関係費用	9,349	6,884	279.1	2,465

（注1）実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

（注2）コア業務純益＝実質業務純益−国債等債券損益

（単位：百万円）



- ２行合算の経常収益は、前年同期比25億49百万円減少の321億1百万円（増減率△7.3%）となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、前年同期比20億84百万円減少の50億31百万円（増減率△29.2%）となりました。
- 経常利益は、前年同期比88億41百万円減少の△44億30百万円、当期純利益は前年同期比97億61百万円減少の△71億76百万円となりました。

1．損益の状況

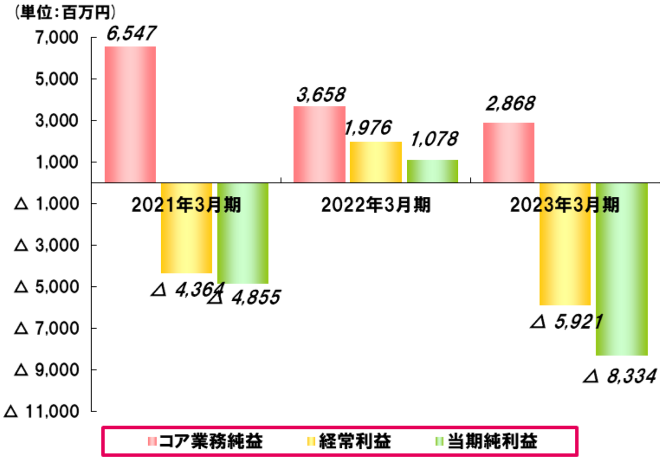
③ きらやか銀行単体

（単位：百万円、％）

	2023年3月期	前年同期比	増減率	2022年3月期
経常収益	17,400	△ 1,014	△ 5.5	18,415
業務粗利益	14,407	△ 1,372	△ 8.6	15,780
資金利益	12,155	△ 1,199	△ 8.9	13,355
うち貸出金利息	11,395	△ 91	△ 0.7	11,486
うち有価証券利息配当金	721	△ 1,155	△ 61.5	1,877
役務取引等利益	2,013	△ 192	△ 8.7	2,206
その他業務利益	238	20	9.3	217
うち国債等債券損益	△ 20	△ 4	-	△ 16
経費（除く臨時処理分）	11,559	△ 578	△ 4.7	12,138
うち人件費	5,585	△ 371	△ 6.2	5,956
うち物件費	5,038	△ 200	△ 3.8	5,239
実質業務純益（注1）	2,848	△ 793	△ 21.7	3,642
コア業務純益（※注2）	2,868	△ 789	△ 21.5	3,658
（除く投資信託解約損益）	2,868	△ 789	△ 21.5	3,658
①一般貸倒引当金繰入額	396	△ 632	△ 61.4	1,029
業務純益	2,452	△ 160	△ 6.1	2,613
臨時損益	△ 8,373	△ 7,737	-	△ 636
②うち不良債権処理額	8,260	7,853	-	407
うち個別貸倒引当金繰入額	7,831	7,665	-	166
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	123	97	-	25
経常利益	△ 5,921	△ 7,898	-	1,976
特別損益	△ 458	△ 330	-	△ 128
法人税等合計（△）	1,954	1,183	-	770
うち法人税等調整額（△）	1,928	1,369	-	558
当期純利益	△ 8,334	△ 9,412	-	1,078
与信関係費用	8,656	7,220	-	1,436

（注1）実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

（注2）コア業務純益＝実質業務純益−国債等債券損益



- 経常収益は、有価証券利息配当金等の減少などにより、前年同期比10億14百万円減少の174億00百万円(増減率△5.5%)となりました。

- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費を前年同期比5億78百万円減少させるなど効率化を図りましたが、有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比7億89百万円減少の28億68百万円となりました。

- 与信関係費用は、特定の大口取引先の業況悪化に加え予防的な引当を実施したことに伴い、前年同期比72億20百万円増加の86億56百万円となりました。

- 経常利益は前年同期比78億98百万円減少の59億21百万円の赤字となりました。加えて、店舗再編に伴う減損損失、法人税等調整額の見直しを行ったことから、当期純利益は前年同期比94億12百万円減少し83億34百万円の赤字となりました。

1．損益の状況

④ 仙台銀行単体

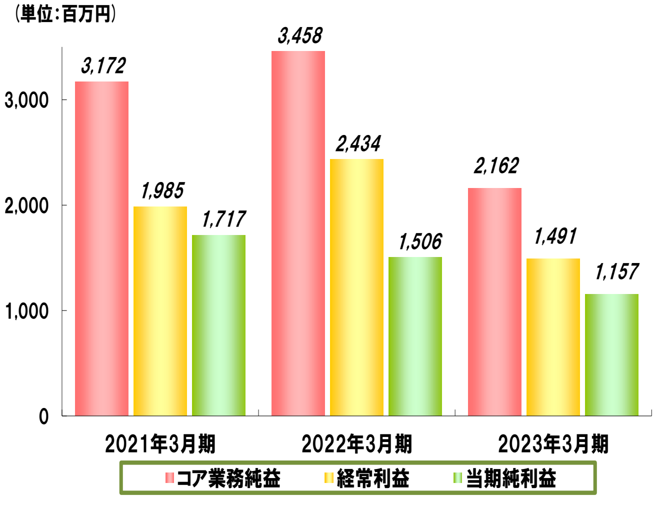
（単位：百万円、％）

	2023年3月期	前年同期比	増減率	2022年3月期
経常収益	14,700	△ 1,534	△ 9.4	16,235
業務粗利益	12,048	△ 1,471	△ 10.8	13,519
資金利益	11,291	△ 1,647	△ 12.7	12,938
うち貸出金利息	10,578	293	2.8	10,285
うち有価証券利息配当金	604	△ 1,958	△ 76.4	2,562
役務取引等利益	859	192	28.8	667
その他業務利益	△ 102	△ 16	-	△ 85
うち国債等債券損益	△ 195	△ 32	-	△ 162
経費（除く臨時処理分）	10,080	△ 144	△ 1.4	10,224
うち人件費	4,954	△ 69	△ 1.3	5,023
うち物件費	4,229	△ 75	△ 1.7	4,305
実質業務純益（注1）	1,967	△ 1,327	△ 40.2	3,295
コア業務純益（注2）	2,162	△ 1,295	△ 37.4	3,458
（除く投資信託解約損益）	2,073	△ 1,308	△ 38.6	3,382
①一般貸倒引当金繰入額	△ 528	△ 383	-	△ 145
業務純益	2,496	△ 944	△ 27.4	3,441
臨時損益	△ 1,005	1	-	△ 1,007
②うち不良債権処理額	1,222	30	2.5	1,191
うち個別貸倒引当金繰入額	1,095	△ 59	△ 5.1	1,154
（貸倒償却引当費用①＋②）	693	△ 352	△ 33.6	1,045
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	200	27	15.8	173
経常利益	1,491	△ 943	△ 38.7	2,434
特別損益	△ 79	16	-	△ 96
法人税等合計（△）	254	△ 577	△ 69.3	831
うち法人税等調整額（△）	△ 118	△ 498	-	380
当期純利益	1,157	△ 349	△ 23.1	1,506

与信関係費用	693	△ 336	△ 32.6	1,029

（注1）実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

（注2）コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益



- 経常収益は、貸出金利息が増加したものの、有価証券利息配当金の減少により資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比15億34百万円減少の147億円（増減率△9.4%）となりました。

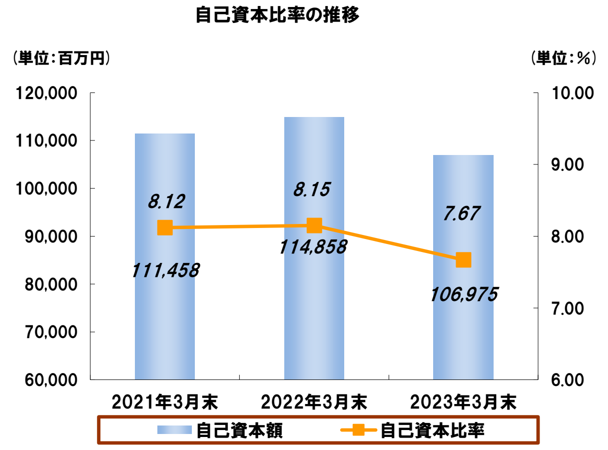
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことなどから、前年同期比12億95百万円減少の21億62百万円（増減率△37.4%）となりました。

- 与信関係費用は、大口先の倒産が無かったため、前年同期比3億36百万円減少の6億93百万円となりました。

- 経常利益は、前年同期比9億43百万円減少の14億91百万円、当期純利益は前年同期比3億49百万円減少の11億57百万円となりました。

2．自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

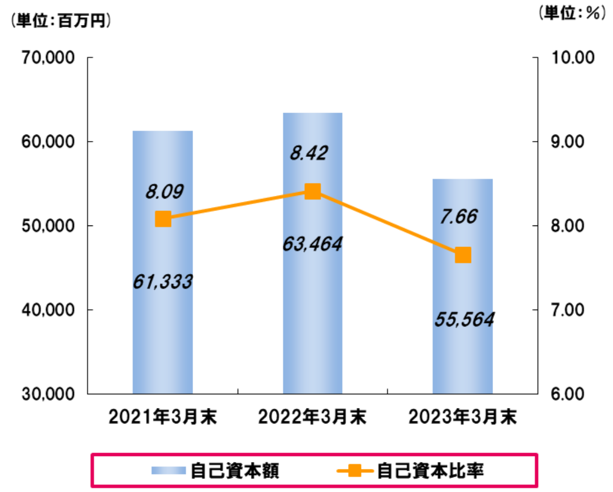


● じもとホールディングスの連結自己資本比率は7.67%となりました。

（単位：%）

	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
連結自己資本比率	7.67	△ 0.48	8.15

② きらやか銀行

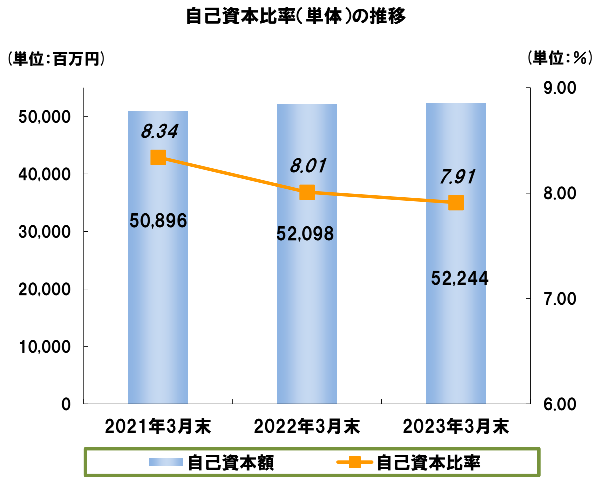


● 単体の自己資本比率は、リスクアセット（分母）が減少したものの、自己資本（分子）が減少したことから、2022年3月末比0.76ポイント低下し7.66%となりました。

（単位：%）

	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
自己資本比率【単体】	7.66	△ 0.76	8.42
自己資本比率【連結】	7.49	△ 0.77	8.26

③ 仙台銀行



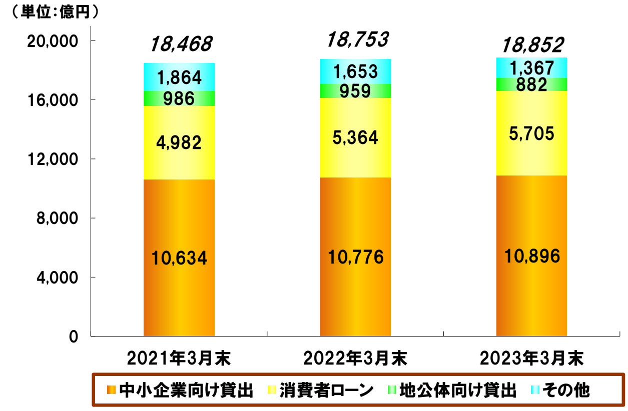
● 単体の自己資本比率は、当期純利益の計上により自己資本（分子）が増加した一方で、貸出金の増加等によりリスクアセット（分母）が増加したことから、2022年3月末比0.10ポイント低下の7.91%となりました。

（単位：%）

	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
自己資本比率【単体】	7.91	△ 0.10	8.01
自己資本比率【連結】	7.91	△ 0.11	8.02

3．貸出金の状況

① 2行合算

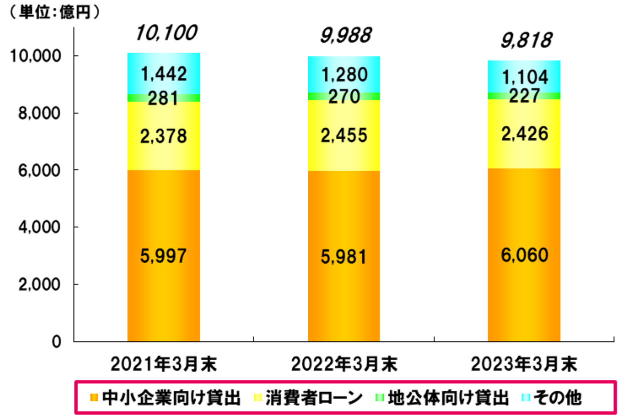


- 2行合算の貸出金残高は、2022年3月末比98億37百万円増加の1兆8,852億23百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
貸　出　金　（　末　残　）	1,885,223	9,837	0.5	1,875,386
うち中小企業向け貸出残高	1,089,668	12,013	1.1	1,077,654
うち消費者ローン	570,539	34,122	6.3	536,416
うち住宅ローン	530,587	34,372	6.9	496,215
うち地方公共団体向け貸出	88,258	△ 7,714	△ 8.0	95,973

② きらやか銀行

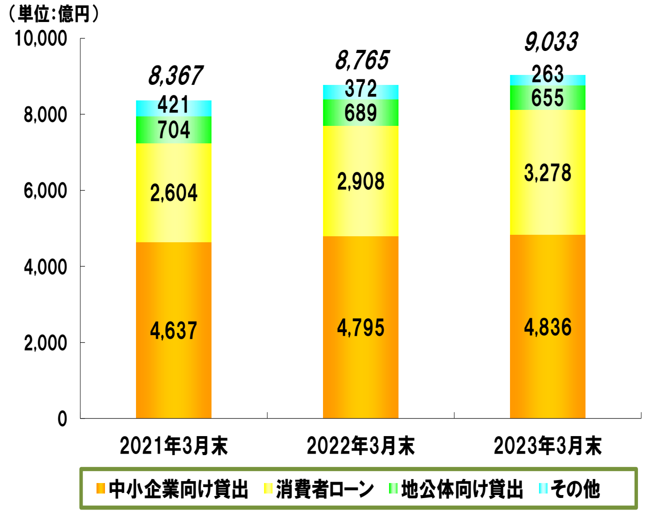


- 貸出金残高は、政策的にシンジケート・ローン等の大企業向け貸出を減少させたことなどから、 2022年3月末比169億62百万円減少の9,818億75百万円となりました。
- 注力している中小企業向け貸出は、 2022年3月末比78億75百万円増加の6,060億22百万円となりました。
- 消費者ローンは、2022年3月末比28億82百万円減少の2,426億84百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は2022年3月末比43億22百万円減少の227億26百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
貸　出　金　（　末　残　）	981,875	△ 16,962	△ 1.6	998,837
うち中小企業向け貸出残高	606,022	7,875	1.3	598,147
うち消費者ローン	242,684	△ 2,882	△ 1.1	245,566
うち住宅ローン	229,034	△ 1,628	△ 0.7	230,663
うち地方公共団体向け貸出	22,726	△ 4,322	△ 15.9	27,048

③ 仙台銀行



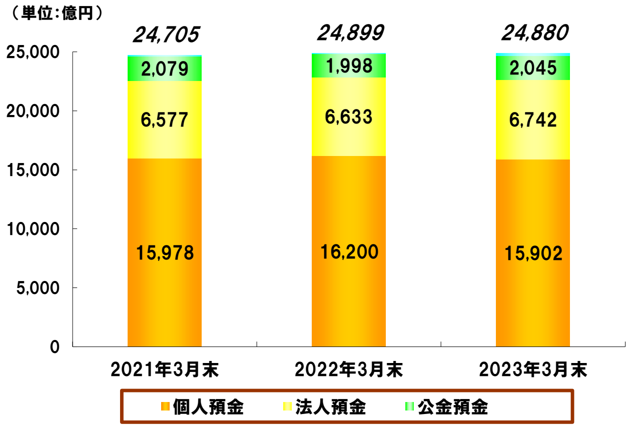
- 貸出金残高は、2022年3月末比268億円増加の9,033億48百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。
- 中小企業向け貸出は、スピード対応やオーダーメイド型融資の取扱いにより新規取引先が増加したことなどから、2022年3月末比41億38百万円増加の4,836億46百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により、2022年3月末比370億4百万円増加の3,278億55百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、2022年3月末比33億92百万円減少の655億32百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
貸　出　金　（　末　残　）	903,348	26,800	3.0	876,548
うち中小企業向け貸出残高	483,646	4,138	0.8	479,507
うち消費者ローン	327,855	37,004	12.7	290,850
うち住宅ローン	301,552	36,000	13.5	265,551
うち地方公共団体向け貸出	65,532	△ 3,392	△ 4.9	68,925

4．預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

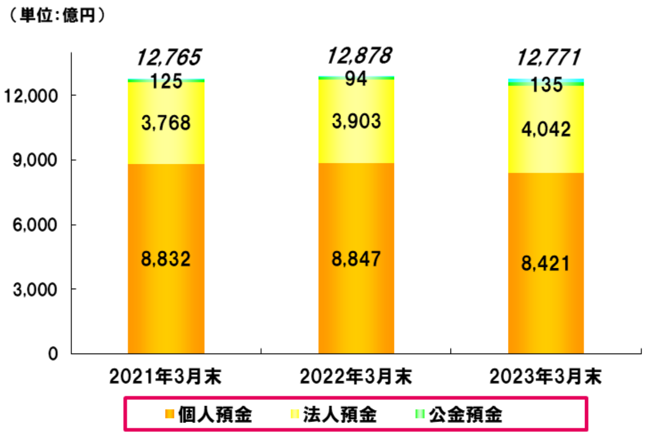


- 2行合算の預金残高は、2022年3月末比18億62百万円減少の2兆4,880億38百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預金（譲渡性預金含む）（末残）	2,488,038	△ 1,862	△ 0.0	2,489,901
うち個人預金	1,590,239	△ 29,844	△ 1.8	1,620,084
うち法人預金	674,238	10,902	1.6	663,336
うち公金預金	204,510	4,621	2.3	199,888

② きらやか銀行

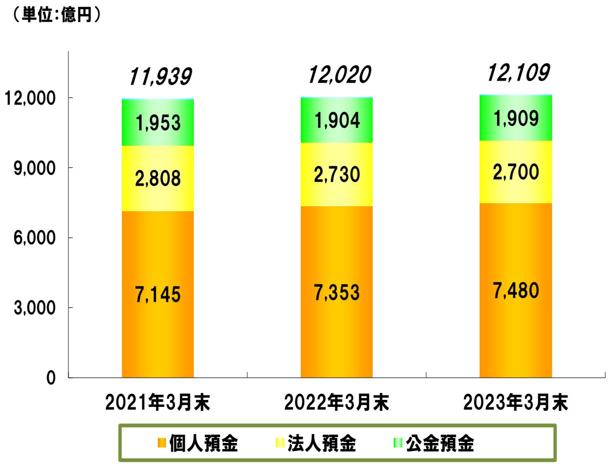


- 預金残高は、2022年3月末比107億1百万円減少の1兆2,771億23百万円となりました。
- 個人預金は定期性預金が減少したことなどから2022年3月末比426億29百万円減少の8,421億52百万円となりました。
- 法人預金は、大口先を中心に2022年3月末比139億24百万円増加し4,042億27百万円となりました。
- 公金預金は2022年3月末比41億20百万円増加の135億87百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預金（譲渡性預金含む）（末残）	1,277,123	△ 10,701	△ 0.8	1,287,824
うち個人預金	842,152	△ 42,629	△ 4.8	884,782
うち法人預金	404,227	13,924	3.5	390,303
うち公金預金	13,587	4,120	43.5	9,467

③ 仙台銀行



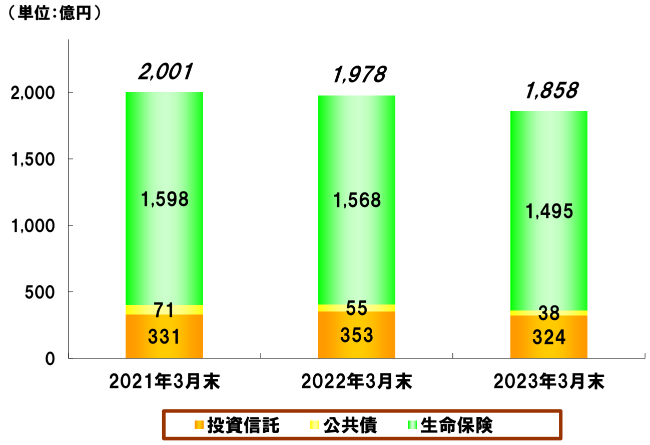
- 預金残高は、2022年3月末比88億38百万円増加の1兆2,109億15百万円となりました。
- 個人預金は、2022年3月末比127億84百万円増加の7,480億86百万円となりました。
- 法人預金は、2022年3月末比30億22百万円減少の2,700億11百万円となりました。
- 公金預金は、2022年3月末比5億1百万円増加の1,909億22百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預金（譲渡性預金含む）（末残）	1,210,915	8,838	0.7	1,202,076
うち個人預金	748,086	12,784	1.7	735,302
うち法人預金	270,011	△ 3,022	△ 1.1	273,033
うち公金預金	190,922	501	0.2	190,421

5．預かり資産の状況

① 2行合算

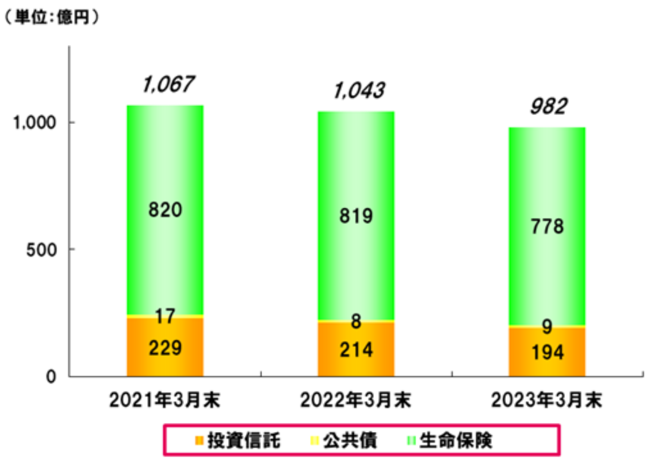


- 2行合算の預かり資産残高は、2022年3月末比119億89百万円減少の1,858億91百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預かり資産（末残）	185,891	△ 11,989	△ 6.0	197,880
うち投資信託	32,491	△ 2,902	△ 8.1	35,393
うち公共債（国債等）	3,893	△ 1,704	△ 30.4	5,598
うち生命保険	149,506	△ 7,382	△ 4.7	156,888

② きらやか銀行

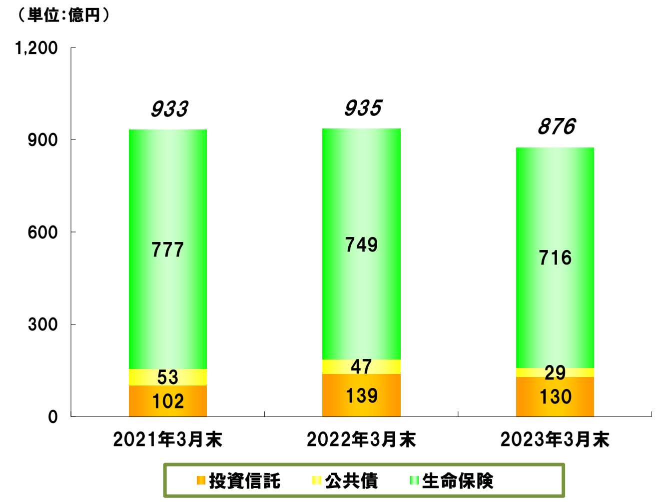


- 預かり資産残高は、2022年3月末比61億26百万円減少の982億21百万円となりました。
- 投資信託は、2022年3月末比20億60百万円減少の194億4百万円となりました。
- 公共債は、2022年3月末比94百万円増加の9億88百万円となりました。
- 生命保険は、2022年3月末比41億60百万円減少の778億28百万円となりました。

（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預かり資産（末残）	98,221	△ 6,126	△ 5.8	104,347
うち投資信託	19,404	△ 2,060	△ 9.6	21,465
うち公共債（国債等）	988	94	10.5	893
うち生命保険	77,828	△ 4,160	△ 5.0	81,988

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2022年3月末比58億63百万円減少の876億69百万円となりました。
- 投資信託は、2022年3月末比8億41百万円減少の130億87百万円となりました。
- 公共債は、2022年3月末比17億99百万円減少の29億4百万円となりました。
- 生命保険は、2022年3月末比32億22百万円減少の716億78百万円となりました。

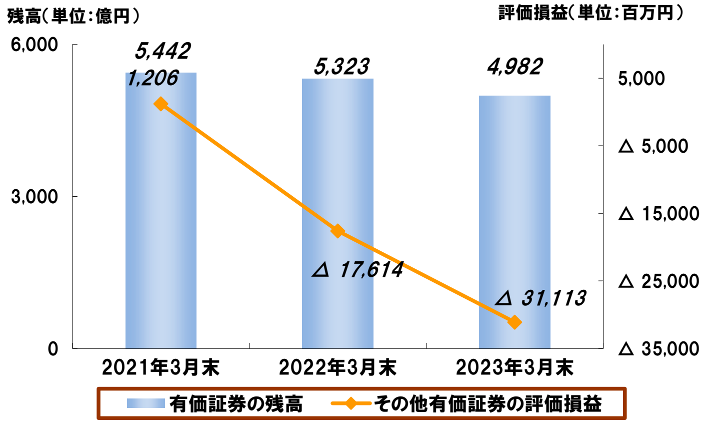
（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
預かり資産（末残）	87,669	△ 5,863	△ 6.2	93,532
うち投資信託	13,087	△ 841	△ 6.0	13,928
うち公共債（国債等）	2,904	△ 1,799	△ 38.2	4,704
うち生命保険	71,678	△ 3,222	△ 4.3	74,900

6．有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2022年3月末比341億9百万円減少の4,982億65百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2022年3月末比134億99百万円悪化し、311億13百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高　（単位：百万円、％）

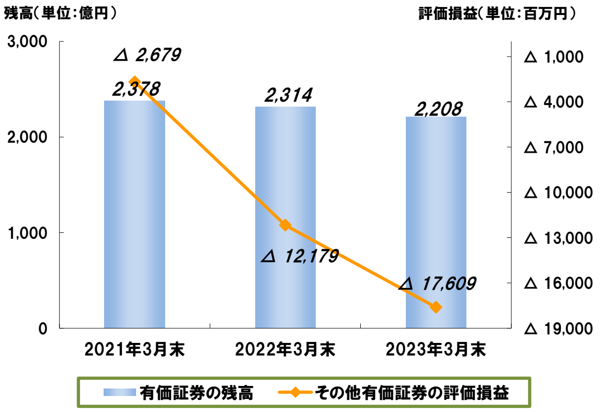
	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
有価証券	498,265	△ 34,109	△ 6.4	532,375
国債	3,235	△ 8,541	△ 72.5	11,777
地方債	42,996	△ 663	△ 1.5	43,660
社債	74,813	2,812	3.9	72,000
株式	8,604	452	5.5	8,152
その他証券	368,615	△ 28,168	△ 7.0	396,784

②その他有価証券の評価損益　（単位：百万円）

	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
その他有価証券	△ 31,113	△ 13,499	△ 17,614
株式	398	212	185
債券	△ 990	△ 374	△ 615
その他	△ 30,521	△ 13,337	△ 17,184

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、国債等が期日償還により減少したことに加え、評価損拡大によりその他証券が減少したことから2022年3月末比105億38百万円減少の2,208億64百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利上昇の影響等により2022年3月末比54億30百万円減少し176億9百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高　（単位：百万円、％）

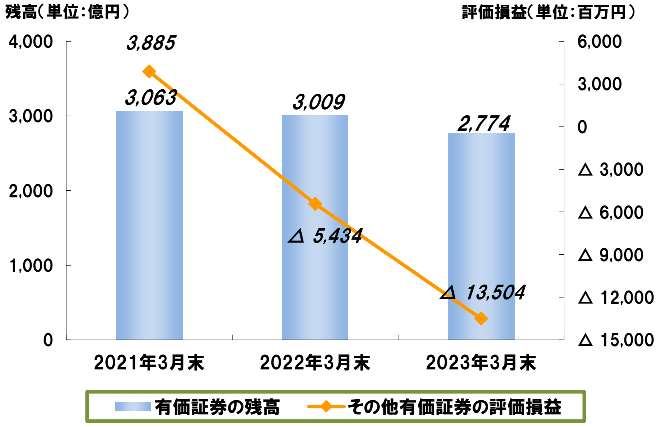
	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
有価証券	220,864	△ 10,538	△ 4.5	231,402
国債	0	△ 3,006	△ 100.0	3,006
地方債	7,237	△ 549	△ 7.0	7,786
社債	41,014	△ 1,746	△ 4.0	42,760
株式	6,449	31	0.4	6,417
その他証券	166,163	△ 5,267	△ 3.0	171,430

②その他有価証券の評価損益　（単位：百万円）

	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
その他有価証券	△ 17,609	△ 5,430	△ 12,179
株式	220	38	182
債券	△ 758	△ 322	△ 435
その他	△ 17,071	△ 5,145	△ 11,925

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえた運用により、2022年3月末比235億71百万円減少し2,774億1百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利上昇の影響等により、2022年3月末比80億69百万円悪化し135億4百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高　（単位：百万円、％）

	2023年3月末	2022年3月末比	増減率	2022年3月末
有価証券	277,401	△ 23,571	△ 7.8	300,972
国債	3,235	△ 5,535	△ 63.1	8,771
地方債	35,759	△ 114	△ 0.3	35,873
社債	33,798	4,558	15.5	29,239
株式	2,155	420	24.2	1,734
その他証券	202,452	△ 22,901	△ 10.1	225,353

②その他有価証券の評価損益　（単位：百万円）

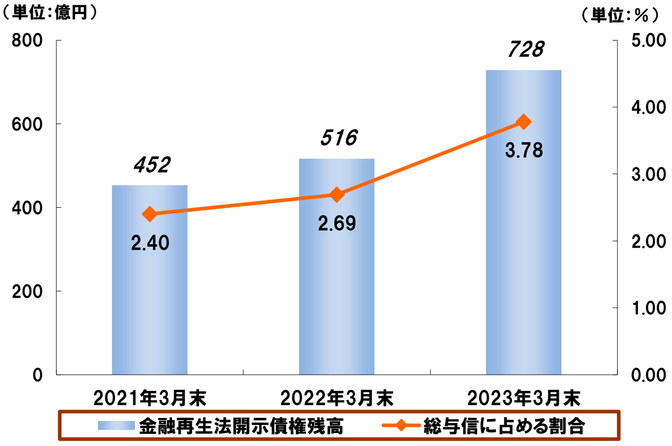
	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
その他有価証券	△ 13,504	△ 8,069	△ 5,434
株式	178	174	3
債券	△ 232	△ 52	△ 180
その他	△ 13,450	△ 8,191	△ 5,258

(注)その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7．金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2022年3月末比212億14百万円増加の728億31百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2022年3月末比1.09ポイント上昇し3.78%となりました。



①金融再生法開示債権残高　（単位：百万円、％）

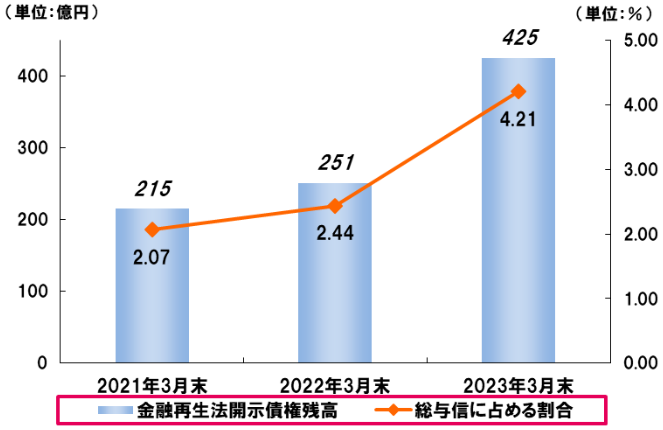
	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,789	3,912	3,877
危険債権	59,839	19,794	40,044
要管理債権	5,202	△ 2,492	7,695
合計（A）	72,831	21,214	51,617
正常債権	1,850,354	△ 9,793	1,860,147
総与信額（B）	1,923,185	11,420	1,911,765
（A／B）	3.78	1.09	2.69

②金融再生法開示債権の保全状況（2023年3月末）　（単位：百万円、％）

	債権額（A）	保全額（B）	担保保証等	貸倒引当金	保全率（B／A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,789	7,789	3,449	4,340	100.00
危険債権	59,839	47,317	37,074	10,243	79.07
要管理債権	5,202	2,182	2,064	118	41.94
合計	72,831	57,289	42,588	14,701	78.66

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料、電気料金の高騰による物価高の影響に伴う取引先の業況悪化、特に大口取引先の業況悪化により、2022年3月末比174億13百万円増加の425億26百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2022年3月末比1.77ポイント上昇し4.21%となりました。



①金融再生法開示債権残高　（単位：百万円、％）

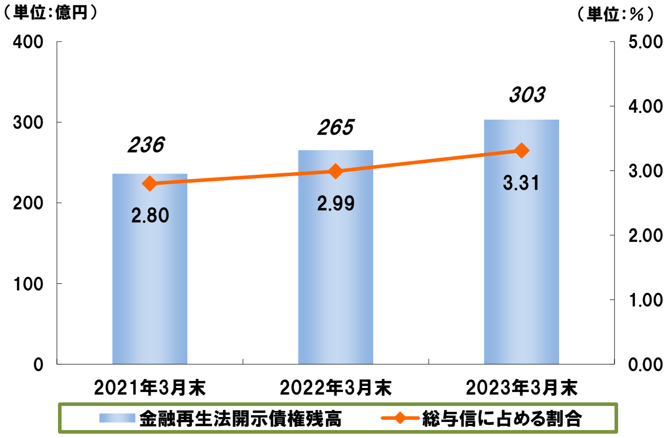
	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,924	3,665	2,258
危険債権	34,783	15,709	19,074
要管理債権	1,818	△ 1,961	3,780
合計（A）	42,526	17,413	25,112
正常債権	967,519	△ 34,739	1,002,259
総与信額（B）	1,010,046	△ 17,326	1,027,372
（A／B）	4.21	1.77	2.44

②金融再生法開示債権の保全状況（2023年3月末）　（単位：百万円、％）

	債権額（A）	保全額（B）	担保保証等	貸倒引当金	保全率（B／A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,924	5,924	2,031	3,892	100.00
危険債権	34,783	23,055	17,245	5,809	66.28
要管理債権	1,818	219	170	49	12.08
合計	42,526	29,199	19,448	9,751	68.66

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料、電気料金の高騰による物価高の影響に伴う取引先の業況悪化等により、2022年3月末比38億円増加の303億4百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2022年3月末比0.32ポイント上昇し3.31%となりました。



①金融再生法開示債権残高　（単位：百万円、％）

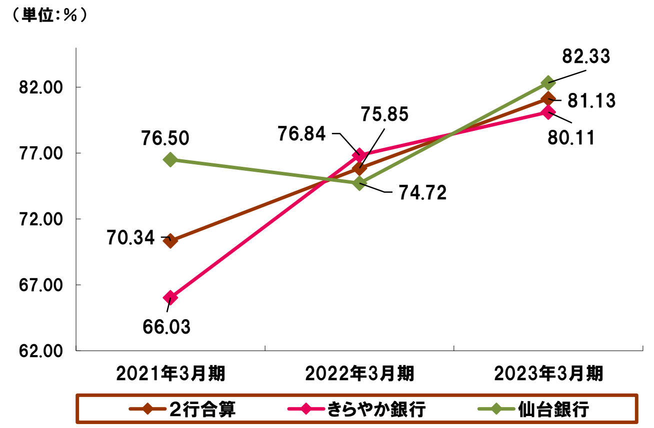
	2023年3月末	2022年3月末比	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,865	246	1,619
危険債権	25,055	4,084	20,970
要管理債権	3,383	△ 530	3,914
合計（A）	30,304	3,800	26,504
正常債権	882,834	24,946	857,888
総与信額（B）	913,139	28,746	884,392
（A／B）	3.31	0.32	2.99

②金融再生法開示債権の保全状況（2023年3月末）　（単位：百万円、％）

	債権額（A）	保全額（B）	担保保証等	貸倒引当金	保全率（B／A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,865	1,865	1,417	447	100.00
危険債権	25,055	24,262	19,828	4,433	96.83
要管理債権	3,383	1,962	1,893	69	57.99
合計	30,304	28,090	23,140	4,950	92.69

8．経営指標

● 2行合算のコアＯＨＲ（債券関係損益を除く）は、2022年3月期比5.28ポイント上昇し、81.13%となりました。



（単位：%）

		2023年3月期	2022年3月期比	2022年3月期
コアOHR	2 行 合 算	81.13	5.28	75.85
	きらやか銀行	80.11	3.27	76.84
	仙 台 銀 行	82.33	7.61	74.72

9．2024年3月期　業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

● じもとホールディングスの2024年3月期の連結業績予想は、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円の黒字回復を見込んでおります。

● じもとホールディングスの2023年3月期の期末配当金は、1株あたり5円を予定しております。
また2024年3月期の年間配当金は、中間配当を見送り、期末配当に一本化のうえ1株あたり10円を予定しております。

【連結業績予想】　（単位：百万円）

	2024年3月期	中間期	（参考）2023年3月期実績
経常利益	1,600	700	△ 4,297
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	500	△ 7,082

【配当予想】

基準日	中間	期末	年間
2024年3月期	0円00銭	10円00銭	10円00銭
（参考）2023年3月期	7円50銭	5円00銭	12円50銭

② 子銀行の個別業績予想

● きらやか銀行単体ベースでは、経常利益1億円、当期純利益7億円を見込んでおります。

● 仙台銀行単体ベースでは、経常利益14億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

きらやか銀行

（単位：百万円）

	2024年3月期	中間期	（参考）2023年3月期実績
経常利益	100	200	△ 5,921
当期純利益	700	200	△ 8,334

仙台銀行

（単位：百万円）

	2024年3月期	中間期	（参考）2023年3月期実績
経常利益	1,400	500	1,491
当期純利益	1,000	300	1,157